

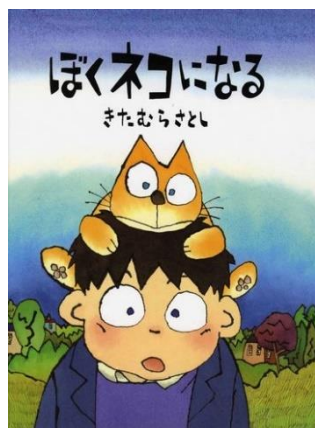


きょうかしょ で さくしゃ ほかに さくひん しょうかい
教科書に出てくる作者の他の作品の紹介です！ぜひ読んでみてください♪



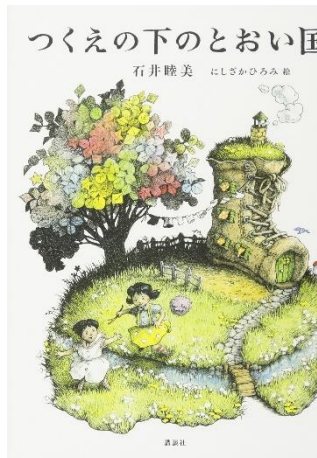
ともだちいっぱい

くどう なおこ / 文
リュウ オトコ コ
竜の男の子は、リュックが大好き。リュックをかついで、いろんなところあそびにでかけます。今日のリュックの中身は何かな？どんなともだちあそぶのかな？



ぼくネコになる

きたむら さとし / 文
ある夜、とんがり帽子のおばあさんが、ぼくの部屋へやってきて、なにやらぶつぶつぶつぶつ。翌朝、めざめると、ぼく、「ネコ」になるぞ!!



つくえの下のとおい国

いいい おつみ / 文
幼い姉妹を主人公に、おじいちゃんのおしよさいという身近な場所からファンタジーの世界が広がっていきます。どこかなつかしくて新しいそんなお話。



そらいろのたね

なかがわ りえこ / 文
ゆうじが のはら ひこうき と
ゆうじが野原で飛行機を飛ばしていると、森のきつねが「ちょうだい」と言うのです。ゆうじはきつねの宝物のそらいろのたねと交換することにしました。



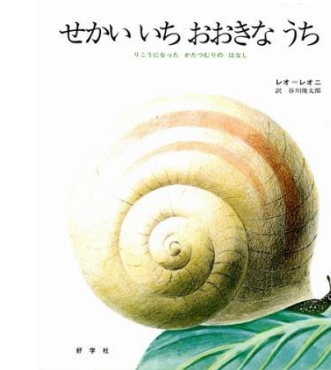
ふくろうくん

アーノルド ローベル / 文
みき たく やく
三木 卓 / 訳
ひとりで暮らすふくろうくん。お人好して心優しく、けれど考え出すと止まらない。そんなふくろうくんの個性あふれる日常のお話。



スプーンおばさん小さくなる

アルフ・プリョイセン / 作
おおつか ゆうぞう やく
大塚 勇三 / 訳
自分がスプーン位の大きさになったとしたら、何を考えるでしょう。おばさん。それでもあわてず家事を見事にやってのけます



せかいいち おおきなうち

レオ=レオニ / 文
たにかわ しゅんたろう やく
谷川 俊太郎 / 訳
ちびかたつむりは自分が小さいので「大きいことが一番」と考えていました。父さんの話を聞いてちがう考え方を学びます。



へい六 がんばる

きた しょうすけ / 作
ひと なに
人から何かたのまれると「へえ、よごす」とすぐひきうける、底抜けのお人好し、あめうりの六助。おくびょうで平凡な人物、六助のちんみょうな活躍を描いた話。



かえって きた きつね

きしだ えりこ / 作
おお き ちか
大きな木の近くに住むきつねととりとももんが。大きな木というすみかを中心に動物たちの交流を描いた、いっふう変わった絵本です。